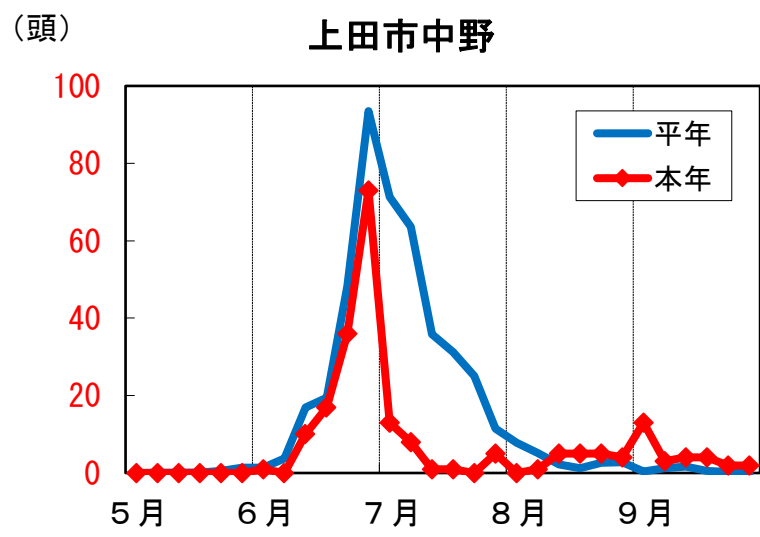


予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺消長【令和5年(2023年)】



※平年:平成25年～令和4年(10年間)の平均

・上田市では、6月第1半旬に1頭初誘殺され、その後、誘殺頭数は平年並に増加しましたが、7月は平年と比べ少ない誘殺頭数でした。9月第1半旬に平年と比べてやや多い13頭誘殺されました。

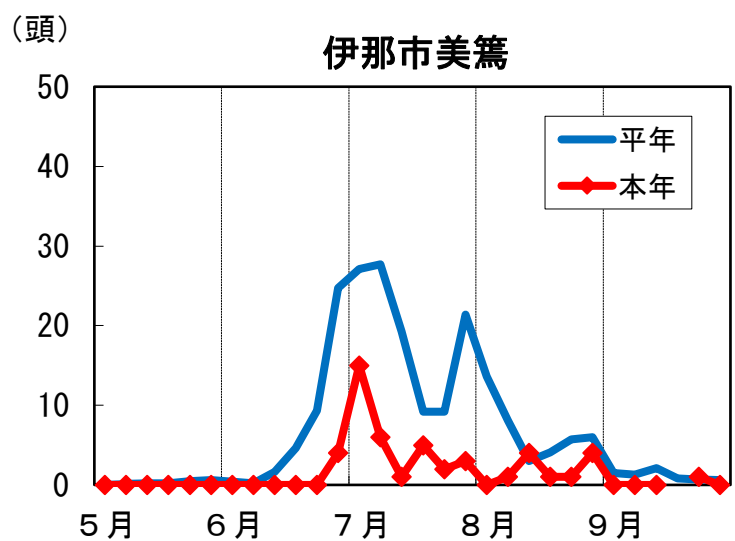
・伊那市では、6月第6半旬に4頭初誘殺され、7月第1半旬に誘殺のピークがみられましたが、全般に平年と比べ少ない誘殺頭数でした。9月第4半旬は電球切れのため欠調です。

・飯田市では、6月第3半旬に1頭初誘殺され、8月上旬には誘殺のピークがみられましたが、全般に、平年と比べ少ない誘殺頭数でした。7月第1、第2半旬は、電球切れのため欠調です。

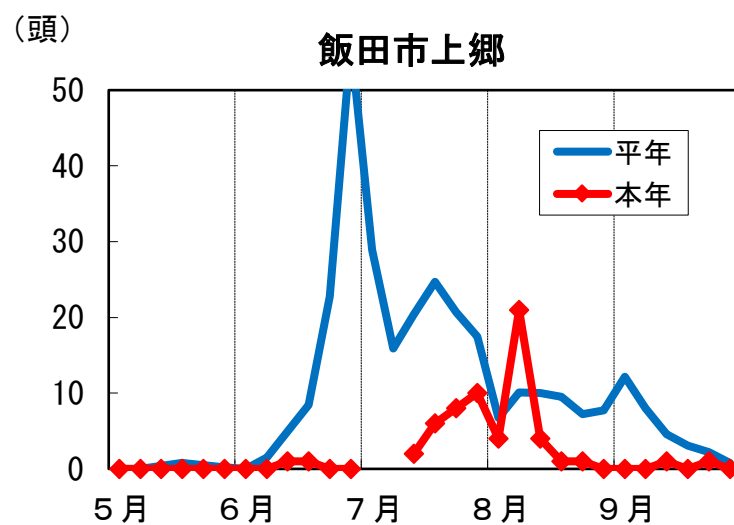
・南木曾町では、6月第4半旬に3頭初誘殺され、その後7月第5半旬まで誘殺され、9月下旬にも数頭誘殺されましたが、平年と比べてやや少ない誘殺頭数でした。7月第1、第2半旬は、電球切れのため欠調です。

・安曇野市では、6月第5半旬に3頭初誘殺され、その後7月下旬まで数頭誘殺されましたが、平年と比べて少ない誘殺頭数でした。

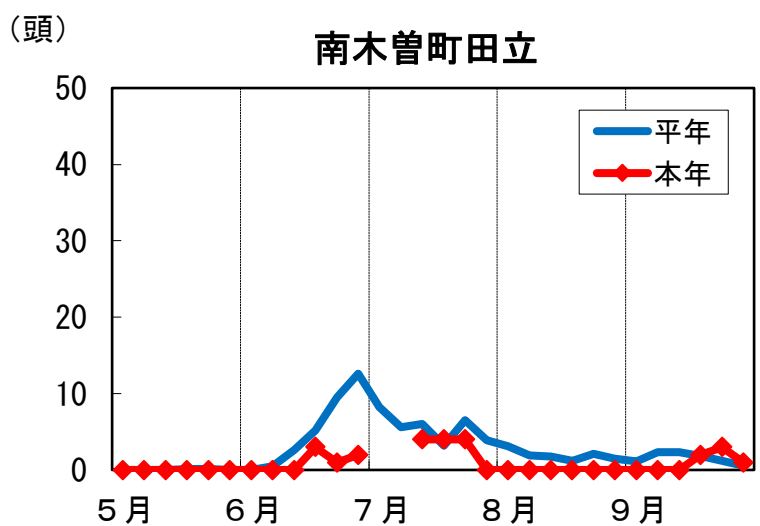
・須坂市では、6月第2半旬に1頭初誘殺され、その後誘殺頭数はほぼ平年並に推移していましたが、8月、9月は平年と比べ多い誘殺頭数でした。



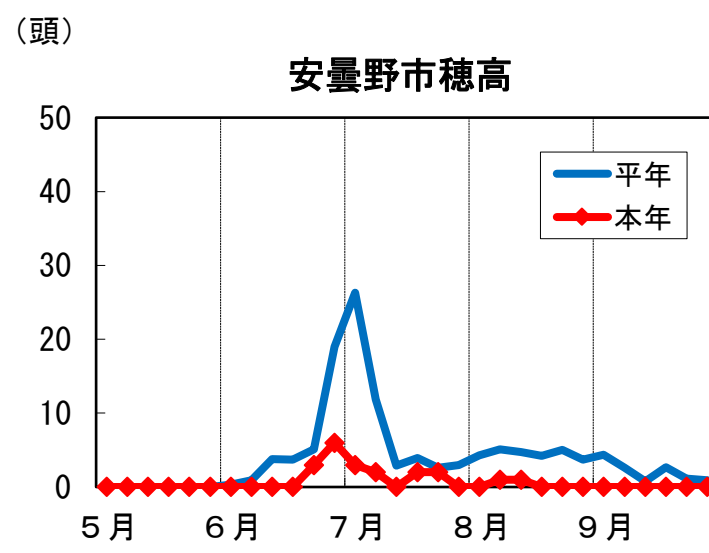
※平年:平成25年～令和4年(10年間)の平均



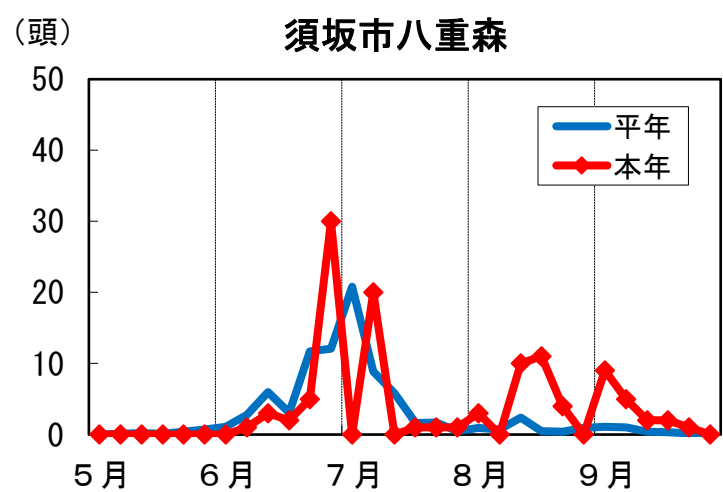
※平年:平成25年～令和4年(10年間)の平均



※平年:平成25年～令和4年(10年間)の平均



※平年:平成25年～令和4年(10年間)の平均



※平年:平成25年～令和4年(10年間)の平均

(参考)

1 発生生態

斑点米を発生させる主要害虫のアカヒゲホソミドリカスミカメは水田周辺の雑草地で年4～5世代発生を繰り返します。主として7月中旬以降に発生する第2世代成虫がイネの出穂に伴い水田へ侵入、稲穂にとりついて吸汁加害します。出穂期の早い早生品種で被害が多くなる傾向にあります。上のグラフは予察灯(ライトトラップ)で捕獲された成虫数です。

2 防除時期・対策等

出穂期10日後に防除を実施し、常発地では7日～10日後に追加散布を行います。粒剤は効果の発現までに時間を要するため、3日程度早く処理します。田畦畔の草刈りは出穂2週間前までに実施し、出穂直前はカメムシを水田内に追い込む恐れがあるため行いません。